

日独 国際原子力問題シンポジウム

原発問題にどのように取り組むかは、日本と世界が抱える最も大きな問題であります。

今回は、一方の立場よりの見方に偏らず原子力問題を総括的に捉え、問題の本質の理解と併せ経済的、現実面からの要望に対してどのように対応すればよいか、忌憚のない意見の交換を期待しています。

今回もドイツより東日本震災地域ボランティアの団を引き連れて訪日中のベルリン自由大学の福澤啓臣博士をお迎えして、ドイツ、日本の原子力問題の比較、両国における同問題の現況と将来についての日独国際シンポジウムを開催致します。

期 日 : 2014年5月7日(水) 17時半—20時半

会 場 : 桜美林大学四谷キャンパス 地下1階ホール、新宿区四谷1-21 Tel.03-5367-1321

会 費 : 1000円(学生は無料)

主 催 : 桜美林大学北東アジア総合研究所

共 催 : 国際アジア共同体学会

—プログラム— 進行係: 中川十郎・平川均

開会挨拶 川西重忠(桜美林大学北東アジア総合研究所長)

基調報告

福澤啓臣(ベルリン自由大学哲学博士、「絆・ベルリン」代表) —ドイツから見た東日本大震災と原発問題報告

- 1 外山茂樹(名古屋大学名誉教授) —技術者から見た核エネルギー
- 2 遠藤哲也(在ウィーン国際機関政府代表部初代大使、元国際原子力機関(IAEA)理事会議長、元原子力委員会委員長代理) —日本は原子力を必要とするか
- 3 イエスパー・ヴェーバー(在日ドイツ人ビジネスマン) —フクシマ以降の在日ドイツ人の日本対応
- 4 村田光平(元外務省スイス大使) —国際社会の信頼を取り戻すために

総括 西原春夫(アジア平和貢献センター理事長、元早稲田大学総長)

閉会挨拶 進藤栄一(国際アジア共同体学会会長、筑波大学名誉教授)

※終了後に有志、関係者で懇親会を予定(2,3千円)

ご連絡・お問合せ・申し込み
桜美林大学北東アジア総合研究所

Tel & fax 042-704-7030
E-mail n-e-a@obirin.ac.jp
または kawa22@obirin.ac.jp

(会場: 桜美林大学四谷キャンパス)

